



ISSN 0285 130X
旬刊
5.15 25日発行
(1部/200円)
広島県医師会速報の代金会
員負担1回(200円)は県医師
会費に含まれています。
第1856号

主な目次

○平成16年新年互礼会	1	○感染症情報	45
○病院機能評価セミナー	7	○インフルエンザ	48
○第30回常任理事会	13	○医療時事ニュース	52
○会員へのお知らせ	14	○医師協同組合情報	53
○社保の菜	25	○医師国保の菜	54
○地対協だより	40	○募集コーナー	55
○会員の声(長谷川頼彦)	44	○学術・講演会ガイド	64

新年互礼会
広島県医師会
県内の医療関係者と議員ら約230名が
一堂に集い新年の挨拶を交す
混沌たる医療情勢を巡る意見交換に花が咲く

恒例の広島県医師会新年互礼例会が1月11日(日)午後5時より広島全日空ホテルにおいて盛大に開催された。会員、県医師会・市郡地区医師会の役員をはじめ県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会などの友好団体、広島大学医学部、放影研、原対協、県行政の関係者、国会議員、県議会議員、市議会議員など約230名が参集。以下、来賓の挨拶を紹介。

● **年頭のご挨拶**



真田 幸三
広島県医師会会長

皆さん明けましておめでとございます。恒例の広島県医師会新年互礼例会も6回目を迎えます。藤田県知事様をはじめ多くの県選出の国会議員の皆様、各地区の県議会議員の皆様、

その他友好団体、県行政、市郡地区の保健医療福祉に関わる多くの方々が、このように一堂に集まっていたが、新年互礼例会を開催できまことは光栄に存じます。厚く御礼を申し上げます。

昨年は、イラクの紛争、テロと戦争の繰り返など暗い世相でありました。また、日本では春の統一地方選挙、11月には衆議院選挙と選挙のあった年でもあります。さて、今年はいつことを考えてみますと、この正月も国として

公 示

来る平成16年3月7日(日)開催の第93回定例代議員会において会長選挙を行います。立候補または候補者を推薦しようとするものは、2月26日(木)午後5時までに
〒733-8540
広島市西区観音本町1丁目1番1号
広島県医師会会長 真田 幸三
あてに届けてください。

届出または推薦にあたっては左記にご留意ください。

記

- (1) 届出または推薦は文書により、お願いします。口頭は受け付けません。
 - (2) 文書には、候補者氏名、年齢、住所、略歴(主として医師会歴)を記載し、顔写真を添付してください。
 - (3) 推薦にあたっては、推薦届出者の氏名、住所、所属医師会名を記載し、候補者の承諾書と顔写真を添付してください。
- 平成16年1月25日
社団法人 広島県医師会

イラクに自衛隊を派遣するという問題で、何となく重苦しい気持ちで過ごさざるを得なかったと思っっています。すでにイラクの派遣が決まり、今後どうなることか、小泉さんもご自身の運命をかけてのことだと思いますが、われわれとしても社会保障の一端を担うものとしてどうしても心配なことが多くあります。私は昭和6年生まれで、終戦の 때가14歳でした。生まれてから14歳まで日本はずっと戦争していました。そういうことを考えてみますと、今では防衛費といいますが、軍備費がどんどん増高しますと、社会保障は逆に減ってきます。いま防衛費は6%ですか。社会保障費が25、26%かと思いますが、それが悪くいけば逆転もします。国民医療も年金もましてや介護も、いろいろな福祉の問題も全くうまくいかなくなります。これは、私は身をもって体験しております。国が戦争に巻き込まれますと、本当に惨めなことになります。

そういうことで、今日は各界の方々がお出でになっておられ、そういうことの観点からも今後国として、県としていろいろとその問題を考えて取り組んでいただけたらと思っております。われわれの医療に関しても、小泉さんは聖域なき構造改革ということで出発されて、良いことも取り組んでいただいています。ご承知のように改革といえば悪い制度を良くするということが改革です。やったことが悪くなるというのは改革ではなくて、医療については医療保険制度、株式会社を導入するとか、混合診

療を導入する、あるいは医療特区等を含めて市場原理主義を取り入れようということを進められますと、今まで非常に良かった国民皆保険制度、フリーアクセスとか現物給付の問題がすべてうまくいかなくなつて国民皆保険が崩壊するということになるかと思っております。これは国民としても国としても非常に不幸なことで、現在日本は世界の最長寿命国を維持しています。これは今までの国民皆保険とか予防医学とか衛生状況とかいろいろんな問題が良かったと思えますが、これから制度を改悪しているいろいろな問題がうまくいかなくなると、これは長寿命国ではなくなる。国としては長寿のために医療費が多くなるので大変なんだという考えがないことはないですが、そんなことがあつては大変で、人生は幸せに健康で長寿を全うするというのが、一番であろうと思っております。

今日は各地域から医師会も集まっております。各地区単位でいろいろなことをお話をしていたらと思っております。医師会の方も今年2月、3月、4月にかけて、日本医師会をはじめ都道府県医師会、市郡地区医師会の役員の変更があり、いろいろなところで役員が変わるうかと思えますが、変わりましたも引き続き皆様方にはよろしくお願いを申し上げます。本日は有難うございました。



新春のお言葉



藤田 雄山
広島県知事

改めまして、新年明けましておめでとございます。先生方には清々しい新年をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。広島県医師会の先生方には、平素から本県の保健医療行政の推進に格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は世界中を不安に陥れたSARSの影響もあり、改めて健康危機管理の重要性が問われた年でありました。また5月には、健康増進法が施行され、がんや糖尿病などの生活習慣病対策など生涯を通じた健康のあり方が大きくクローズアップされました。県といたしましては、大変厳しい財政状況ではありますが、健康で安心して暮らせる県民生活の確保がいかに大切であるか改めて認識し、感染症対策をはじめ救急医療体制の構築や生活習慣病予防のための健康づくりなど効果的な保健医療施策の推進に引き続き積極的に取り組んでまいれる所存であります。また、本年は念願でありました緩和ケア支援センターを開設し、医療面だけの支援ではなく、心理面、社会面での支援を含めた総合的な緩和ケアを推進していくこととしています。本年も活力と安心のある元氣な広島県の実現に

全力を傾注してまいります。先生方には、保健医療行政の円滑な推進に引き続きご理解とご協力をいただき、県民の健康を守るためご活躍いただきますようお願い申し上げます。新年の門出にあたり広島県医師会のご発展と先生方のご健勝を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

新春のお言葉



了 間 所
広島県議会議員

皆様、明けましておめでとございます。実は議長にご案内をいただいておりますが、議長がどうしてもやんごとなき事情で出席できないということ、私の方へ挨拶ということになります。本日は本当に皆様おめでとございます。また、県下一円の各地区の県議会議員にご案内をいただき、たくさん出席させていただいております。一緒にこうして新春を祝うことに幸せを噛み締めているわけであります。

県政のことについては、知事さんから概要の説明がありました。私は数点感想を述べさせていただきます。その1つは、いま流行り言葉のように、福祉の時代、福祉ということが言われているわけであります。高齢者福祉、幼児福祉、障害者福祉、いろんな面の福祉ということが

わけでありませぬけれども、考えてみますと、この福祉国家を支えているのは医療の充実があればこそであると考えられるわけです。福祉の県政、福祉の国家という形で福祉の充実を言うわけでありませぬ。その裏に医療の充実があればこそだということとを私どもは考えるわけでありませぬ。皆様方もそういったことが当然のことながらご認識いただいているのではないだろうかと思っております。またもう1つ、最近流行りの言葉のように安全という言葉が言われております。政治の責任である県、市民の安全、国民の安全、これを推進しなければいけない。よく話を分析してみますと、食の安全ということが一番よく言われているわけです。食を作ることから、流通過程からいろいろ安全でない事情があるということ、できるだけ安全にしないといけないということがよく言われているわけでありませぬ。昨年のアメリカの狂牛病なども大変大きな世界を揺るがすような課題になっていることはご案内のとおりであります。ところで、医の方の安全が飛んでいるわけでありませぬ。私どもはちよつと困ったときにはすぐお医者さんに行く。そういったことで、お医者さんの存在を空気のようにならぬように考えていない。当然身近にあるものだというように理解している。そのために、生活するための安全、安心と申しますが、その医療について、充分に当然のことながらということ、意に介していない面があるのではないのでしょうか。そういった面で、皆さん方のお仕事はわれわれの生活の中では当たり前前の社会になっているのでは

ないかと考えるわけです。会長からお話がありましたように、世界一の高齢化の国と、これも医の充実なくしてはやっていけないたわけです。そういうことを考えますとき、非常にありがたい存在であるという気がするわけです。今日こうして皆様方とお会いできる機会がありまして、そういったことを考えてみますと、本当に皆様方は身近にあつてわれわれの福祉の基礎を作ってください、そして安心して生活できる基を作っていただいてるわけです。ということは、社会の仕組みの中に皆様方がどっぷり浸かっているわけですから、これがたつた時にはどれだけ社会が混乱するかということを考えますと、非常にありがたい存在でありまして、いわば県政の活性化、この活性化に根底から寄与していただいているわけです。ということは、知事さんが大病になりましたらがたついてもどうにもならなくなる。あるいは、議長さんが病気になるればまたがたつくわれわれ県会議員が1ヶ月も入院していたら困る面が出てくるということを考えますとき、皆様方の存在があればこそ県政の活性化に、また会社の社長、重役さんが病気で困られることを考えたとき、すぐ分かるわけです。皆様方は活力ある社会の基礎にある職業であることがお分かりになると思つたわけです。その業界が、いまや改革の名の下に風当たりが強いということでありまして、どんな業界でも改革で痛みを知らない業界はないようでありまして、たとえば私の属している弁護士会も報酬基準などは撤廃であります。司法試験の改革

はひどいものであります。また、たとえば司法書士さんに、仕事を分けてあげなければいけない。資格を持つていなくても訴訟ができる、こういった形になるわけでありまして、われわれの業界も細つてきている。そういう中でありまして、医師会の存在はどういう立場であるうとも、われわれの社会に大きな貢献をしていただかなくてはなりませんし、力になっていただかなければいけません。どういった改革があつても、医師会の存在が崩れることはないわけでありまして、そういう面での社会的責任を今以上に皆様方が理解いただきまして、社会に貢献いただきますことを心より期待祈念する次第であります。今年1年が、医師会にとりまして、そしてお医者さんにとりましてすばらしい1年でありますことを心よりお祈りしまして、簡単挨拶ですが、私の挨拶といたします。ありがとうございます。

● 新春のお言葉



大濱 鉦三
広島大学副学長

大学を代表しましてまずは新春のお喜びを申し上げます。また第6回になりました広島県医師会の新年互礼会が藤田県知事をはじめ多くの関係者の皆様方のご列席を得てこのように盛大

に開催されますことに対しまして、心からお祝いを申し上げたいと思います。

先ほどからご挨拶の中にありましたように、いまわが国では平成の大改革と呼ばれる改革が進んでおり、2004年、平成16年はその中で極めて重要な年になるものと考えられております。もちろん国家の財政、地方自治体の財政の再建の問題もあります。わが国の安全の問題もあります。年金の問題もあります。そういった問題は緊急を要する問題であります。一方で忘れてはいけないのは、私は産婦人科なものですから、少子化です。少子高齢化と言われていますが、多くの場合は高齢化に目がいつて、少子化に対する有効な政策はほとんど取られていないということ、ご存知のとおりだと思います。因みに、昨年わが国で何人子どもが生まれたかと言いますと、112万1千人です。前年に比べると3万3千人少なくなっています。また、今年成人式を迎える人たちは152万人いるわけですから、この20年間で生まれる子どもの数は40万人減っています。また、今年還暦を迎える方は、174万人で、この人たちに比べると6割ちよつとしか生まれていない。このままいきますと、わが国はまもなくいまの日本の国の人たちの後継者がいなくなるというのが言われておりまして、あと2、3年すると、わが国の人口は減り始めると。これは現実の問題になってきているわけです。わが国は昔は、どこの街へ行ってもどこの街角に行っても子どもたちの声があふ

れておりましたし、非常に家庭的で人情味あふれた街があったわけです。そのような姿がいまほとんどなくなってきた、そういう姿そのものが非常に懐かしさを感じるほどであります。こういう中で、わが国はどこに向って進んでいくこととしているのか、産婦人科の立場から言うと、非常に不安であります。こういう少子高齢化は疾病構造、病気の種類とか頻度が変わってきて国民の医療に対するニーズもどんどん変わっておりますが、幸いなことに広島県におきましては真田会長をはじめとして適格な医療、あるいは福祉の施策を進められまして、県民に安全安心で先進的な医療を提供するシステムを堅持されておられました。この真田会長も聞くところによりますと、いよいよ次の政権にバトンタッチされるとお聞きしております。これまでご尽力されておられました真田会長並びに役員の先生方に心から感謝の念を申し上げたいと思います。また新たに発足します執行部におかれましてはこれまで以上に、県民の医療を守るべく活躍をしていただきたいと思っております。

さて、広島大学もこの4月から独立法人化されます。現在その準備を進めているところであります。医学部があります霞キャンパスにおきましては、医療担当副学長というものを置きまして、それを中心に学部長とか研究科長とか病院長といった人たちがスクラムを組んで、すべての構成員が一丸となって本来の大学の使命、医療人を養成するという使命、大病院で医療をするという使命、それを全うすべく新しい体制作りに入っています。

るところであります。先ほど申し上げましたように、少子化の中で医療人となるべき優れた能力を持つている人たちが入学試験等で選別をし充分な教育を施して、そして県民の方々に信頼していただける医療人として社会に輩出する。そして、私たちが研究しているいろんな知恵とか知識とか技術をもっと社会に提供して、産学官連携のこともやりたいと思っております。そのために大改革をするんだという意気込みで霞キャンパスは動いているところでもあります。どうか国立大学の法人化に伴います大学の事情に關してもご理解ご支援をいただきまして、引き続き大学を見守っていただきたいと思っております。

最後になりましたが、本日ここに列席の皆様方のお名前のご健勝を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。本日はどうもおめでとございます。

● 新春のお言葉



前田 泰則
広島県薬剤師会会長

新年明けましておめでとございます。友好団体を代表いたしまして新年互礼会のお祝いの言葉を述べさせていただきます。われわれ医療に従事する1人として、去年はつらいと言いますか、しんどいと言いますか険しい道のりが、山が

いくつもありまして、その反省のもとに今年はまだがんばっていきたく思っています。7月には参院選が待ち構えておりますし、その中で亀井先生もがんばっていただかといけませんし、ついでこの間選挙が終わったばかりなんです。国政、もちろん県政も含めましてわれわれの医療の中で政治の占める場が段々広く根強くなってあります。平和の中に担保される医療の充実というのが段々険しくなっていると削られるのが平和予算ということでしょうから、イラクに行ってもほどほどにしてほしいなという気がしております。

われわれも別に戦いを好むわけではありませんが、国民、県民、市民の方への医療の充実、あるいは安全性という言葉も出てまいりました。それをわれわれの業界すべてで賄うというのは大変なんです。安全のためにがんばっているのに構造規制改革会議なるものがとんでもない火球が上がってきますので、われわれも目標に日付をつけてこれからも正々堂々と国民の方々にご理解いただけるように戦ってまいりたいと思っております。早速作ってきましたのが、顔写真入りの名刺であります。顔の見える医療従事者ということで、こういうのを持って毎日動いているわけですから、ただこれの欠点は、髪の毛が抜けるとまた写真を撮り直さないといけないので、たびたび変えないといけないというのがあります。だけど、患者さんから見ると安心していただける1つのネームプレートですので、こういうものを活用しながらわれわれも努力していきたいと思っております。

ぜひ政治に関わっておられる先生方には、本当に去年われわれはしんどかったものですから、ひとつよろしく願いたい。お祝いの言葉がお願いの言葉になってしまいました。今年一年われわれの業界すべて含めて医師会と足並みそろえてがんばりますのでよろしくお願い申し上げます。健康を祈念して挨拶とさせていただきます。今日は誠に有難うございました。

● お言葉と乾盃 ●



本山 栄荘
広島県歯科医師会会長

僭越でございますが、ご指名でありますので乾杯の発声をしたと思います。広島県歯科医師会は昨年は真田会長はじめ皆様方に変化お世話になりました。本年度もよろしく願いを申し上げます。ただ今皆さんいろいろおっしゃいました。問題山積の医療界であります。今年も医師会を中心としてわれわれががんばっていきたく思っておりますので、政治家の先生方よろしく願いを申し上げます。それではご参会の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。ご唱和をお願いいたします。乾盃。有り難うございました。

広島医師会館は1月1日より 全館禁煙となりました!!

ご協力をお願いします。

広島県医師会では、日本医師会が推進している禁煙キャンペーンに同調し、保健・医療の専門団体として県民の皆様禁煙を指導する立場から、1月1日より広島医師会館の全館禁煙になりました。ご協力下さいますようよろしくお願い致します。



日医 / 沖縄県 / 富山県 / 徳島県 / 福岡県 / 新潟県 / 京都府 / 鹿児島県 / 和歌山県 / 鳥取県 / 愛媛県 / 福島県 / 島根県 / 愛知県 / 熊本県 / 茨城県 / 千葉県 / 宮崎県 / 山形県 / 栃木県 / 滋賀県 / 兵庫県 / 北海道 / 秋田県 / 長崎県 / 大阪府 / 高知県 / 佐賀県 / 山口県 / 石川県 / 青森県 / 東京都 / 福井県